

世界株式探検隊

わが国投資家の視点から世界株式市場を調査します



Case No.13 「Greater China と BRICs - 比較してみると・・・」

今回取り上げるのは、今後の経済展開が共に注目される Greater China と BRICs の 2 地域。互いを比較することで、それぞれの地域の特徴を浮かび上がらせます。(二者択一という意味での比較ではありません・・・念のため)。

Greater China はしばしば「大中華圏」と訳され、「シンガポール」を含んで定義されることもあるようですが、ラッセル・グローバル株インデックスでは「中国」、「香港」および「台湾」の3カ国が構成国となります。2009年5月末現在、先進国、新興国を含めたアジア株式市場(除く日本)の約53%を占めます。BRICs は、ご承知の通り、「ブラジル」、「ロシア」、「インド」および「中国」の4カ国。こちらは新興国株式市場全体の約47%を占めています。共にそれぞれの市場の中核的な存在であり、浮動株修正株式時価総額もほぼ同規模です。(小原沢 則之)

調査報告(概要)

- 2009年5月末の浮動株修正時価総額ベースで見た市場規模は、BRICs が Greater China の約 1.2 倍。いずれの地域でも規模では「中国」が最大ですが、銘柄数では「台湾」、「インド」が最多数となります。
- 先進国(除く日本)と業種セクター構成を比較すると、Greater China では「テクノロジー」と「金融サービス」の比率が高く、BRICs では「エネルギー」の比率が高いのが分かります。
- BRICs が Greater China を規模で追い抜いたのはここ数年。構成4カ国すべての拡大が貢献しました。
- 大型 IPO が相次いだこともあり、BRICs では、規模の拡大とともに、大型株式比率も劇的に増大しました。
- 2009年5月末現在、大型株式比率が特に高いのは「ロシア」と「ブラジル」。構成銘柄数の多い「台湾」と「インド」は、これらの地域の中では小型株式比率が相対的に高くなっています。
- 過去長期の平均収益率は BRICs が相対的に優位。収益率で見劣りする「香港」と「台湾」を含む Greater China は、BRICs には及ばないものの、先進国大型よりは優位な収益率を残しました。

《Greater China と BRICs の構成国》

**最近では BRICs の方が Greater China よりも
浮動株修正時価総額が大きい
両方の地域ともに「中国」が最大ウエイト**

ラッセル・グローバル株インデックスにおいては Greater China は「中国」に「香港」と「台湾」を加えた合計3カ国で構成されます。2009年5月末現在の浮動株修正時価総額(以下「時価総額」という)は「中国」が最も大きく、先進国の「香港」が最も小さくなっています。銘柄数では「台湾」が「中国」を上回ります。

一方 BRICs は、地理的に分散した4カ国で構成され、2009年5月末の時価総額は Greater China の約 1.2 倍となります。ここでも「中国」が最大の構成国であり、「ブラジル」がこれに続きます。銘柄数は必ずしも時価総額と比例せず、最も多いのは「インド」です。

Greater ChinaとBRICsの構成国

(2009年5月末、単位:10億円)

構成国	時価総額	割合	銘柄数
Greater China			
中国	44,027	41.2%	289
香港	25,203	23.6%	231
台湾	37,718	35.3%	360
合計	106,948	100.0%	880
BRICs			
ブラジル	41,443	31.2%	199
ロシア	18,822	14.2%	84
インド	28,455	21.4%	389
中国	44,027	33.2%	289
合計	132,747	100.0%	961

出所:Russell Investments

■お問い合わせ窓口
ラッセル・インベストメント株式会社
インデックス部

TEL: 03-5772-8331
FAX: 03-5772-8251
Email: rindexasia@russell.com

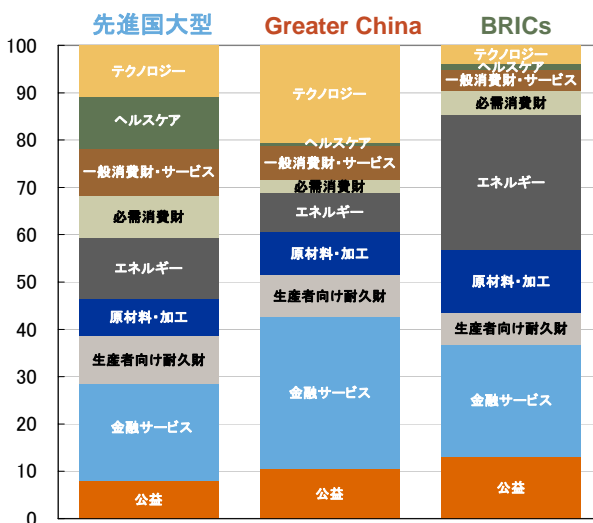
《セクター構成の比較》

「テクノロジー」と「金融サービス」の比率が高い Greater China、「エネルギー」の比率が高い BRICs

右の図は、Greater China および BRICs の業種セクター構成を、先進国（「除く日本」、以下同様）のそれと比較したものです。「テクノロジー」比率の高い「台湾」と「金融サービス」比率の高い「香港」を含む Greater China は、これら 2 つのセクターが先進国と比較して特に大きなウェイトを占めています。

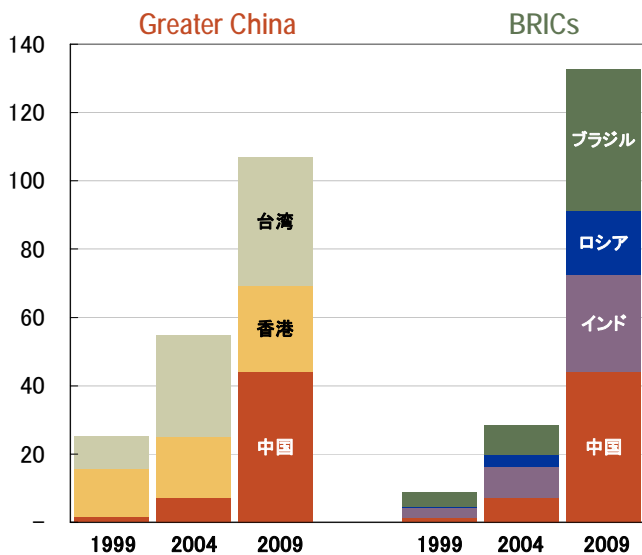
一方 BRICs では「エネルギー」の比率が高いのが目立ちます。これには「ロシア」と「ブラジル」が大きく寄与しています。

Greater ChinaとBRICsのセクター構成比率
(2009年5月末、円換算、単位：%)



出所: Russell Investments

Greater ChinaとBRICsの
浮動株修正時価総額の推移
(各年5月末、円換算、単位：兆円)



出所: Russell Investments

《時価総額の推移》

最近 5 年の急成長で Greater China を BRICs が追い抜く

2 つの地域の時価総額の推移を見てみましょう。現在こそ「中国」が Greater China の主役ですが、1999 年 5 月末では「香港」、2004 年 5 月末では「台湾」が、BRICs 構成国を大きく上回る株式市場規模で、この地域の主役でした。BRICs の時価総額は 2004 年 5 月末時点では Greater China のその半程度程度でしたが、その後の成長振りが目覚しく、「香港」、「台湾」の時価総額がほとんど増加しなかったのを尻目に、BRICs 構成 4 カ国のすべてが時価総額を大幅に拡大させて一気に Greater China の時価総額を抜き去りました。

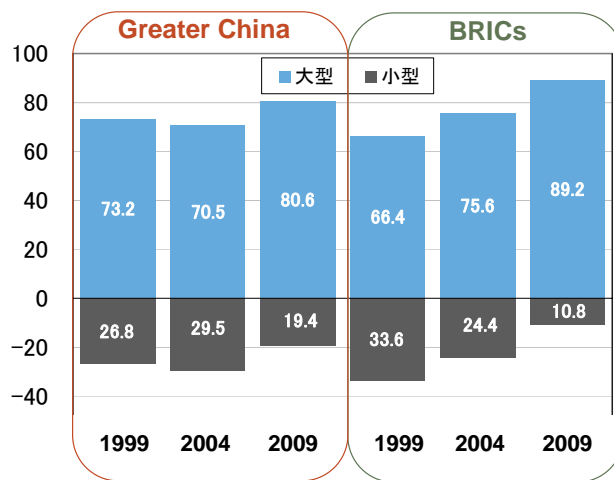
《大型小型比率の推移》

BRICs において大型株式比率の上昇が顕著

ラッセル・グローバル株インデックスでは、構成銘柄をその所属国に関わらず同じ時価総額基準で大型株式と小型株式に区分するため、国や地域の単位で大型小型の比率が異なります。

右の図は 2 つの地域の大型株式と小型株式の比率の推移を表しています。1999 年 5 月末時点の BRICs は大型株式の比率が Greater China のそれを下回っていました。これ以後その比率は増大し、2009 年 5 月末現在では Greater China よりも大幅に高い大型株式比率となっています。

Greater ChinaとBRICsの大型小型比率の推移
(各年5月末、円換算、単位：%)



出所: Russell Investments

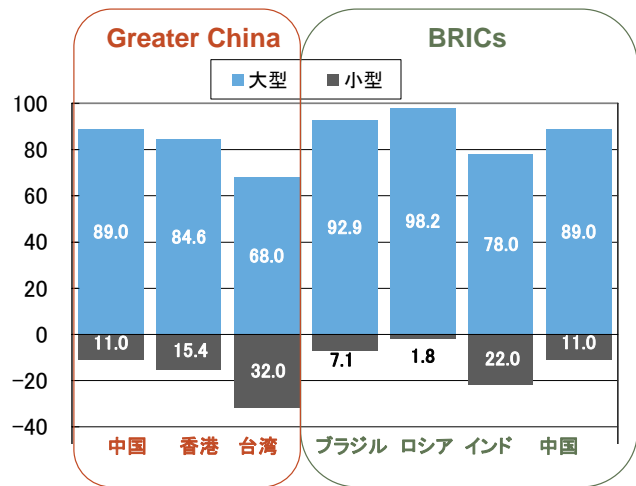
《各構成国の大型小型比率の比較》

「ロシア」、「ブラジル」の大型比率が高く、「台湾」、「インド」の小型比率が高い

各構成国の大型小型比率を見てみましょう。「2009 年 5 月末現在は BRICs が Greater China を上回る大型株式比率」と紹介しましたが、これには「ロシア」と「ブラジル」が寄与していることが分かります。一方 Greater China では、「台湾」と「香港」の小型株式比率が「中国」のそれよりも高く、これが大型小型比率に影響しました。

「ロシア」、「ブラジル」、「中国」の大型株式比率はグローバル全体平均の 87.5%よりも高く、「新興国は小型株式の比率が高い」という従来の常識には当てはまりません。

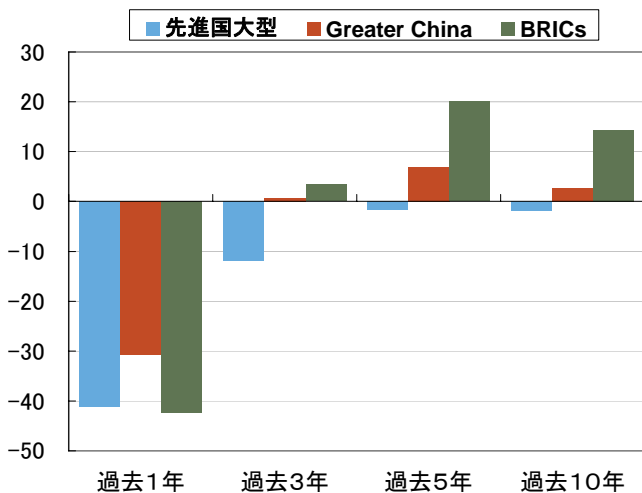
各構成国の大型小型比率
(2009年5月末、円換算、単位：%)



出所: Russell Investments

先進国大型、Greater China、BRICsの 長期的な収益率の比較

(2009年5月末現在、円建て年率収益率、単位：%、先進国は「除く日本」)



出所: Russell Investments

《長期的な収益率の比較》

過去長期の実績で見ると、BRICs が最も高い
Greater China は BRICs には及ばないが、過去
いずれの期間も先進国大型を上回った

過去の収益率はどうか。左の図はこれら2つの地域の過去1年、3年、5年、10年の年率収益率を先進国大型株式と比較したものです。

2009年5月末現在の先進国大型の収益率は、過去3年、5年、10年というやや長期の期間で見てもいずれもマイナスとなりますが、2つの地域ではプラスとなっています。特に BRICs のサブプライム・ショック以前の好調さが偲べれます。

Greater ChinaとBRICsの各構成国の 長期的な収益率の比較

(2009年5月末現在、円建て年率収益率、単位：%)

構成国	過去1年	過去3年	過去5年	過去10年
Greater China				
中国	-29.9	9.6	15.8	16.2
香港	-31.3	-2.2	5.9	4.3
台湾	-30.8	-4.1	2.2	-1.9
BRICs				
ブラジル	-45.8	12.6	32.4	18.6
ロシア	-62.0	-17.5	6.8	14.9
インド	-30.0	5.8	21.9	13.7
中国	-29.9	9.6	15.8	16.2

出所: Russell Investments

《各構成国の収益率の比較》

過去長く遡ると、「台湾」と「香港」が見劣り

右の図は各構成国の年率収益率です。

過去10年という長期で見ると、BRICsの4カ国がいずれも年率10%台の高い収益率であったのに対して、「香港」と「台湾」が大きく見劣ります。

しかし過去1年では、「ロシア」および「ブラジル」の大幅な下落や先進国平均のマイナス40%台の下落に対して、「香港」や「台湾」のそれは、「中国」や「インド」並みにとどまったという面もあります。

こうした状況から分かるように、Greater Chinaの標準偏差はBRICsよりも若干小さめです。

お宝データ

(2009年6月末現在)

ラッセル・グローバル株インデックスで見た世界株式市場

地域別・大型小型別の収益率順位

(円建て収益率、単位：%、先進国および環太平洋先進国は「除く日本」)

2009年6月		2009年4月以来 (過去3ヶ月)		2009年1月以来 (過去半年)		2008年7月以来 (過去1年)	
地域	収益率	地域	収益率	地域	収益率	地域	収益率
グローバル	0.7	グローバル	20.9	グローバル	18.1	グローバル	-35.3
日本	3.5	新興国小型	40.6	新興国小型	51.2	日本	-28.3
先進国小型	1.4	新興国大型	32.6	新興国大型	45.5	新興国小型	-34.1
新興国小型	0.8	先進国小型	24.6	先進国小型	20.7	新興国大型	-35.2
先進国大型	0.5	日本	20.0	先進国大型	15.1	先進国大型	-35.9
新興国大型	-0.5	先進国大型	18.6	日本	9.2	先進国小型	-38.0
環太平洋先進国大型	4.1	中南米大型	35.9	中南米大型	56.5	アジア新興国大型	-24.0
アジア新興国大型	0.9	アジア新興国大型	31.8	アジア新興国大型	45.6	環太平洋先進国大型	-32.4
北米大型	0.8	欧州圏新興国大型	31.2	環太平洋先進国大型	40.2	北米大型	-33.9
欧州先進国大型	-0.7	環太平洋先進国大型	30.6	欧州圏新興国大型	35.1	欧州先進国大型	-39.8
中南米大型	-1.4	欧州先進国大型	23.7	欧州先進国大型	15.7	中南米大型	-40.0
欧州圏新興国大型	-2.8	北米大型	14.9	北米大型	12.7	欧州圏新興国大型	-49.8

国別大型株式の収益率上位・下位5カ国

(円建て収益率、単位：%、大型株式20銘柄以上の国でのランキング)

2009年6月		2009年4月以来 (過去3ヶ月)		2009年1月以来 (過去半年)		2008年7月以来 (過去1年)	
国	収益率	国	収益率	国	収益率	国	収益率
オーストラリア	6.5	インド	51.7	ブラジル	67.6	インド	-12.1
中国	5.6	シンガポール	45.2	インド	62.3	中国	-15.5
スペイン	4.8	ブラジル	37.1	ロシア	57.5	南アフリカ	-20.2
マレーシア	4.2	香港	35.2	中国	49.1	マレーシア	-20.4
日本	2.8	中国	33.7	香港	47.7	香港	-21.7
フランス	-3.2	台湾	22.2	イタリア	10.2	ブラジル	-42.8
フィンランド	-3.5	フランス	19.8	フランス	9.3	イタリア	-44.4
カナダ	-4.4	日本	19.3	スイス	8.4	フィンランド	-44.7
台湾	-6.1	スイス	16.1	日本	8.1	ベルギー	-50.2
ロシア	-12.8	米国	13.8	ドイツ	7.6	ロシア	-64.2

セクター別の収益率順位

(グローバル総合、円建て収益率、単位：%)

2009年6月		2009年4月以来 (過去3ヶ月)		2009年1月以来 (過去半年)		2008年7月以来 (過去1年)	
セクター	収益率	セクター	収益率	セクター	収益率	セクター	収益率
ヘルスケア	4.0	金融サービス	34.3	テクノロジー	33.1	必需消費財	-20.7
テクノロジー	3.8	原材料・加工	26.3	原材料・加工	32.9	ヘルスケア	-21.1
必需消費財	2.9	生産者向け耐久財	22.2	一般消費財・サービス	21.9	テクノロジー	-27.6
公益	2.5	一般消費財・サービス	21.0	エネルギー	19.2	一般消費財・サービス	-27.8
一般消費財・サービス	1.5	テクノロジー	20.2	金融サービス	18.9	公益	-31.1
金融サービス	0.5	エネルギー	17.7	生産者向け耐久財	12.6	金融サービス	-38.1
生産者向け耐久財	0.1	必需消費財	15.0	必需消費財	12.4	生産者向け耐久財	-39.4
原材料・加工	-2.6	公益	12.4	ヘルスケア	7.6	原材料・加工	-45.8
エネルギー	-4.6	ヘルスケア	9.0	公益	7.1	エネルギー	-46.4

出所：Russell Investments

当資料中「ラッセル・インベストメント グループ」、「ラッセル・インベストメント」及び「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニー及びその子会社等の総称です。

ラッセルによる事前の書面による許可がない限り、資料の全部又は一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮ください。

当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。

ラッセル・インデックスのインデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。

インデックスは運用商品ではなく、直接投資することはできません。インデックスを対象とした金融商品への投資は、その商品に関わる経費や運用報酬などにより、そのインデックスと同一のパフォーマンスを提供するものではありません。他の投資同様、上場投資信託(ETF)への投資にはリスクが伴います。投資の前にこれらのリスクを十分に検討してください。当資料のいかなる内容も、投資アドバイスの性質を持つものではなく、投資アドバイスを提供するものではありません。当資料は、「ラッセル・インデックス」の説明を唯一の目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。

分散投資は、収益を保証するものでも、市場環境の変化による損失を防ぐものでもありません。

Copyright © 2009. Russell Investments. All rights reserved.